



【令和7年度 前期学校評価結果について】

(保護者アンケート 7月実施回答率 51.8%)

児童数：305

回収数：158

回収率：51.8%

	令和7年度前期学校評価	回答数					百分率					回答数計
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
1	学校の教育方針（めざす児童像「よく考え、学ぶ子、思いやりをもち、助け合う子、明るく元気な子」）を知っている。	155			3		98.1%			1.9%		158
2	学校は、特色ある取組を行っている。（安心安全で信頼される学校・学び合い、知徳体を高め合う学校・生きがいをもつ学校）	141			17		89.2%			10.8%		158
3	本校が松木中（小）学校と合同で行う取組（小中一貫教育の日、三校合同あいさつ運動、運動会のボランティア）について知っている。	150			8		94.9%			5.1%		158
4	学校は、子どもが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	123	30	0	0	4	77.8%	19.0%	0.0%	0.0%	2.5%	158
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。（いのちの大切さを共に考える日の取組、SOSの出し方の取組、ふれあい月間の取組 等）	103	43	3	0	9	65.2%	27.2%	1.9%	0.0%	5.7%	158
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。（6月のふれあい月間、児童へのいじめに関するアンケートの実施、10月のふれあい月間および集会等）	91	52	3	1	11	57.6%	32.9%	1.9%	0.6%	7.0%	158
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	97	48	6	1	6	61.4%	30.4%	3.8%	0.6%	3.8%	158
8	学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器（1人1台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	102	44	7	0	5	64.6%	27.8%	4.4%	0.0%	3.2%	158
9	学習活動に対する評価は適切・公平である。	87	50	2	1	17	55.1%	31.6%	1.3%	0.6%	10.8%	158
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	100	49	2	1	6	63.3%	31.0%	1.3%	0.6%	3.8%	158
11	学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	117	24	6	1	9	74.1%	15.2%	3.8%	0.6%	5.7%	158
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	89	52	4	0	12	56.3%	32.9%	2.5%	0.0%	7.6%	158
13	学校は、保護者に対して、学校便りやホームページ等で適切に情報を提供している。	123	29	5	0	0	77.8%	18.4%	3.2%	0.0%	0.0%	158
14	学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。	109	26	2	3	17	69.0%	16.5%	1.3%	1.9%	10.8%	158

※ 1 あてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない 5 分からない

(1) アンケート全体に関わることについて

今年度の前期学校評価につきまして、51.8%の皆様からご回答いただきました。お忙しい中、誠にありがとうございました。

全体的な結果としては、ほぼ全ての項目で「1 あてはまる」または「2 ややあてはまる」の肯定的評価をいただきましてありがとうございます。この結果、及

びいただいたご意見を学校全体で共有し、今後の教育活動がさらに充実するよう努めてまいりたいと存じます。

続きまして、肯定的な回答が特に高かった設問と比較的低かった設問について、述べさせていただきます。

(2) 肯定的な回答が特に高かった設問について

① 設問 4「学校は、子どもが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。」について

設問 4 の肯定的回答は、96.8%となり、昨年度同時期の肯定的回答とほぼ同評価をいただきました。地震や火災など、万が一の災害時に冷静かつ迅速に行動できるよう、日頃から訓練を実施しております。特に近年は、自然災害の多発や予測困難な事態が増えています。ただ避難するだけでなく、「自分の命を守る行動とは何か」を考える機会として、安全意識をさらに育んでいきます。

② 設問 10「学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。」について

今回の肯定的回答は 94.3%となり、昨年度前期 78.6%、後期 86.1%から、改善いたしました。学校では、子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができるよう、生活指導を行っており、学習面だけでなく、社会性や自律性を育むうえでも欠かせない大切な取り組みと考えています。今後も集団生活の中で互いに尊重し、安心安全な環境を作るための基本として、指導を続けてまいります。

③ 設問 13「学校は、保護者に対して、学校便りやホームページ等で適切に情報を提供している。」について

設問 13 の肯定的回答は、96.2%でした。今年度も「学校長より」のコーナーにて、日々の校内での子供たちの様子や校長の思いを伝えさせていただいております。ただ、自由意見で「ホームページの更新が遅くなった気がする。また、活動内容が少し見にくい」等のご意見をいただきました。ホームページがリニューアルされ、新しいシステムでの運用となったため更新が滞っている面がございます。新しいシステムに慣れるよう努め、引き続き保護者の皆様に情報をお伝えしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(3) 肯定的な回答が比較的低かった設問について

① 設問 9「学習活動に対する評価は適切・公平である」について

本項目については、「5分からない」と回答した方が 17%でした。確かに、回答が難しい項目であろうかと存じます。

評価につきましては、評価の基準を学校全体で共有し、また学年の担任間でも確認し合いながら、適切・公平な評価となるよう努めております。また、今後も、保護者会等において評価についてお伝えしてまいります。

② 設問 14「学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。」について

前期の学校評価にて肯定的な回答が最も低かった設問は、「学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。」で、肯定的回答は 1・2 合わせて 85.4%でした。

特別支援教育は、発達や学習に困難を抱える子どもたち一人ひとりの二

ズに依りて、適切な支援を行う教育です。これは、すべての子どもが安心して学び、成長できる環境を整えるための大切な取り組みです。近年、特別な支援を必要とする子どもが増加傾向にあり、日本の調査によると、特別な支援を必要とする子どもは、小中学校で 8.8%との結果が出ております。これは社会全体の価値観の変化や、子どもたちの多様性への理解が進んできたことの表れでもあります。

本校では、八王子市で実施している研修や、講師を実際に学校へ招いての研修を行っております。また毎年、松木小・中学校と連携して、松木地区3校合同特別支援研修会を実施しており、今年度も8月29日に松木中学校を会場として行いました。教職員は研修等をとおして、発達の特性や支援の方法等について学び、日々の教育活動に活かすための知識と実践力を高めています。

また、特別支援教育は、発達に課題がある子どもだけが対象ではなく、全ての子どもたちのためにあります。全ての子どもにはその子なりの課題や悩み、心配等があり、その課題や悩み、心配等に寄り添うことも大切な特別支援教育だと考えております。

今後は、保護者の皆さまとさらに協力しながら、子どもたち一人ひとりの可能性を広げていくため、特別支援教育についての取り組みを適切に行ってまいります。保護者の皆さまには、学校のこうした取り組みをご理解いただき、今後も温かく見守っていただけますと幸いです。

今後とも、子どもたちのより良い成長のために、各項目でいただいた評価を参考に、様々な教育活動について改善を図ってまいります。

(4) 自由意見より全体に関わること、複数意見への回答

★ご意見・ご質問等 ○学校からの回答

★水泳指導について（スイミングスクールへの委託・天候への対応）

○「プールの授業はスイミングスクールに委託すれば、天候関係なく、先生の負担も少ないので良いのではと思いました」といったご意見をいただきました。

八王子市では、児童・生徒数が概ね 150 名以内の学校や、施設の老朽化が顕著で、10 年以内にプールの新設または大規模修繕が必要となる学校において、学校外プールを活用した水泳指導へ原則として切替えが行われています。（令和7年度（2025年度）学校外プール活用校小学校 11 校、中学校 1 校、計 12 校）

本校につきましては、現状では切替え基準に該当しておりません。令和8年度以降の対象校追加については個別に調整とのことです。

★教職員の私用スマートフォンについて

○「教員たちによる性犯罪がニュースでもあり心配です。」等のご意見をいただきました。

テレビやインターネット、新聞等によるニュースでは、学校の教職員の「盗撮」等による犯罪について、連日のように報道されています。保護者の皆様におかれましては、大変不安に思われている方もいらっしゃると思います。

教職員の不祥事（性犯罪等）については、決してあってはならないことと認識しているとともに、広く世間からの視線（学校に向けられた不信感や不安感など）を受け止め、安心して子どもたちを学校に通わせてもらいたい、という思いが一層強くなっています。一部の卑劣でおぞましい行為により、学校という現場全体へのイメージが損なわれたことに対し、私たちも心外に感じている

とともに、本校では、このようなご心配を払拭すべく、教育活動に取り組んでまいります。本校では、教員に原則として私用スマートフォンを教室に持ち込ませません。加えて、管理職が更衣室等を定期的に巡回し、不審物がないか確認いたします。

また、教員に対する服務研修も、引き続き適切に進めていきます。このような取り組みを通して、保護者・地域から信頼される学校であり続けたいと考えます。不安なことなどありましたら、学校までお知らせくださいますようお願いいたします。

今回のアンケートの中で、次のようなコメントをいただきました。

「いつもありがとうございます。アプリで、細かくご連絡いただけるのが大変ありがたいです。」「いつもご指導ありがとうございます。保護者として、協力できることがありましたらお声がけいただけたら幸いです。」「担任の先生が明るく楽しい雰囲気の中、日々ご指導してくださり娘も毎日元気に登校しており感謝しております。友達とのトラブルがあった際も、娘や親の気持ちも汲んでくださり、丁寧に対応して頂き安心して過ごすことができました。」

このような温かいコメントは、私たち学校現場にとってたいへん嬉しく、励みとなります。本当にありがとうございます。

また、個別の内容につきましては、別途個別に連絡させていただきました。授業についてのご意見等につきましては、教員と共有し、今後の教育活動に生かしてまいります。

次回の学校評価は11月に行います。令和7年度の最終的な学校評価となりますので、ぜひ多くの皆様にご回答いただきますよう、よろしくお願いいたします。